

資料 No. 1

奥州 こども芸術発表会事業

～伝統文化を継承する人々の情熱と力～

奥州市芸術文化協会

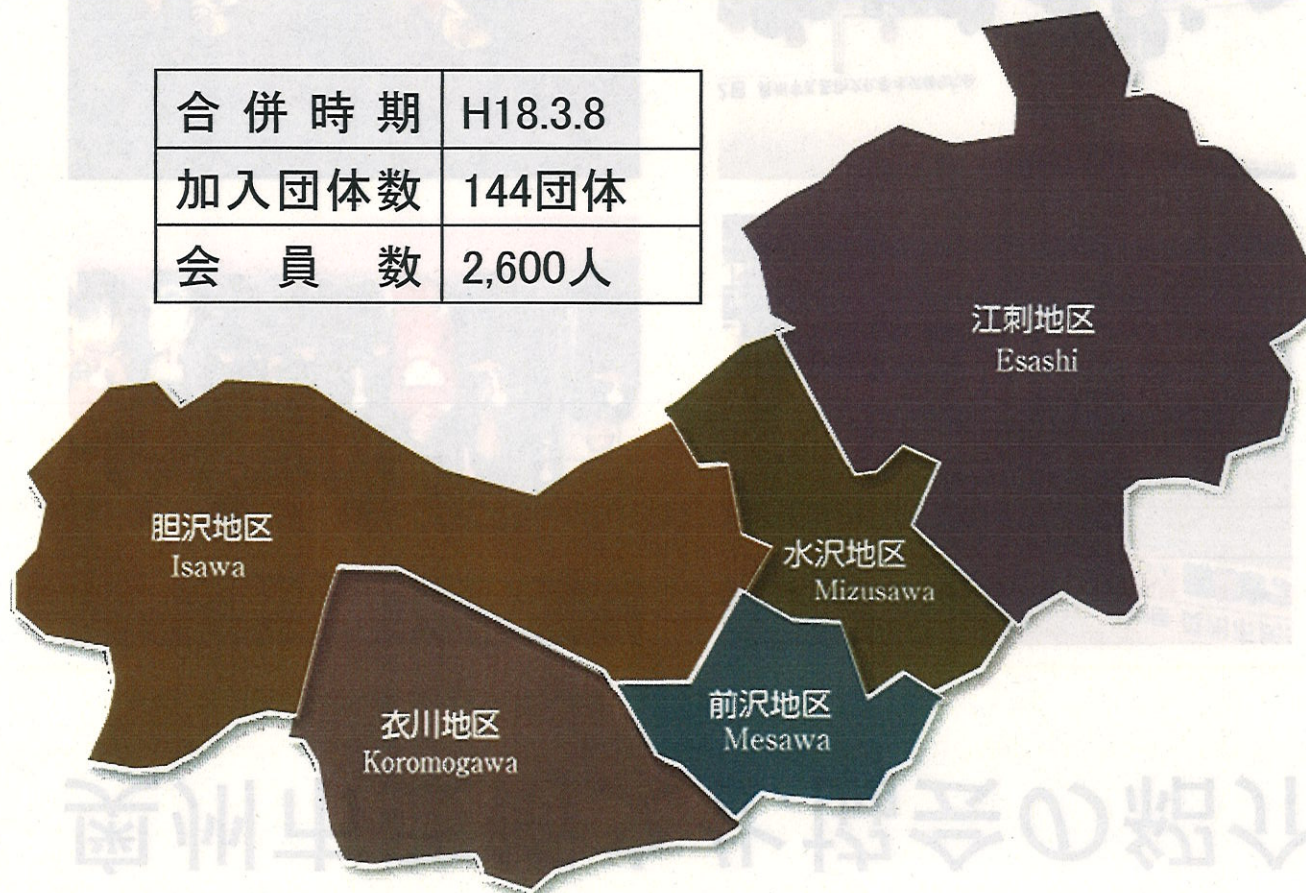
奥州こども芸術発表会の開催

奥州こども芸術発表会の開催



奥州市芸術文化協会の紹介

合併時期	H18.3.8
加入団体数	144団体
会員数	2,600人



奥州市芸術文化協会の紹介



合併当初の後継者育成

1

水沢



文化庁伝統文化
こども教室の開催

2

江刺



民謡・舞踊団体に所属する子ども達への指導、発表

3

前沢



書道・吟詠教室など保育園児への熱心な継承活動

4

胆沢・衣川



地域の子ども達への郷土芸能の伝承

地域が一堂に集まって成果を発表

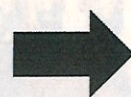
後継者育成事業を始めるきっかけ

後継者不足に悩む団体の危機感



◆ 発表会や親子教室を通じて広く門戸を開放し、子ども達が文化活動を身近に体験

伝統文化の継承は住んでいる奥州市を知る大事な機会



◆ 伝統芸能や芸術文化活動の良さを知ってもらう

文化庁補助事業を活用しての後継者育成事業



◆ 伝承されてきた伝統芸能を未来に伝えてくれるような人づくり

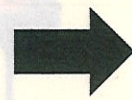
文化庁 おうしゅう伝統文化 親子教室の開催・支援

- ◆ 伝統文化・生活文化に関する活動を、計画的・継続的に体験・習得
- ◆ 「教室」で習得した技芸などの成果を披露する発表会や地域で開催される行事などへ参加



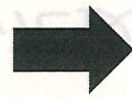
取り組みと期待される効果

琴や日舞の発表と、郷土
芸能の発表の2部構成



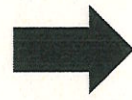
日本の様々な伝統芸能を
知ってもらう

保存伝承に取り組む
青少年の日頃の成果を
広く紹介する



◆指導する側、指導され
る側の自信と誇りを培う

ホームページを活用して
全国へ発信



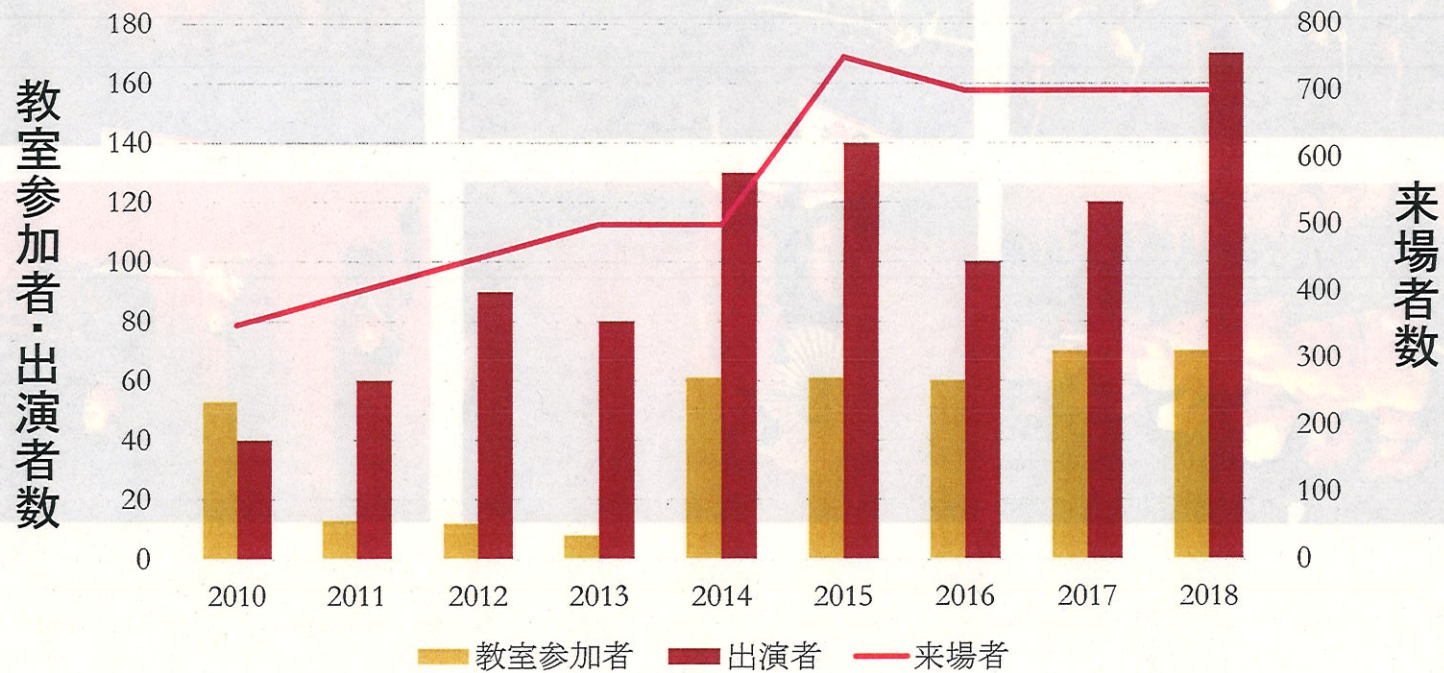
奥州市の伝統芸能の歴史
や魅力を伝えることが
できる

奥州こども芸術発表会



奥州こども芸術発表会

こども芸術発表会来場者数



会春芸術基すこ州奥

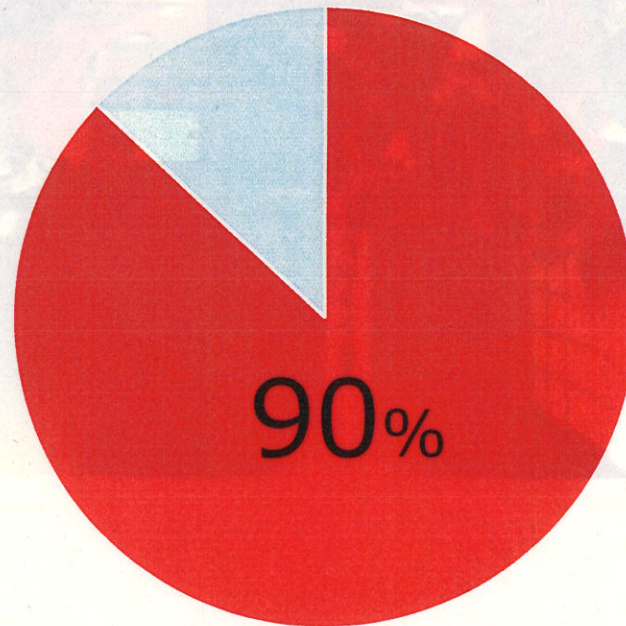
親子茶道教室・茶会の開催



違う分野の文化活動を体験することができる

来場者アンケート結果

発表会を通して奥州市に誇りを感じる割合



■ はい ■ いいえ

来場者アンケートより

- ◆ 昔は当たり前のように身近に感じた芸術だが、この頃は遠くに感じてきた。子ども達のこのような文化活動に携わる事を進めてくれてることは大変良いことだ。
- ◆ 子ども達が小さいころから地域の郷土芸能に取り組んでいけることができるように、文化を継承する保存会や関係者の高い意識が感じられるなど今後の活動の励みになっている。

事業の成果

- ◆奥州市に伝わる伝統文化活動に参加することで、伝統文化を継承していく子ども達が増えていくことが今後も期待される。
- ◆後継者の周囲の評価が高まり、事業の承継がスムーズに進んでいる。
- ◆発表会を知った沿岸の若者が、今春地元に戻って郷土芸能に取り組みたいという、普及活動にも繋がっている。

事業の課題点

- ◆ 次世代を担う若年層をどう取り込むか
- ◆ 文化庁補助事業が終了した後の運営への不安



テレビ東京

「未来の主役地球の子供たち」



～伝統芸能を受け継ぐ子供たちの挑戦・狼ヶ志田神楽保存会～

奥州市芸術文化協会

E-mail:geibun@oshu-bunka.or.jp

<http://www.oshu-geibun.jp>

